

平成15年9月19日

湾内高速航行シミュレータ実験

- 東京湾を40ノット航行は可能か -

独立行政法人 海上技術安全研究所

独立行政法人海上技術安全研究所は、輻輳海域を高速航行する船舶に要求される技術要件を明らかにするため、外部から水先人を被験者として招きシミュレータによる実験を行う。

1. 題目

独立行政法人 海上技術安全研究所は、9月24日(水)及び9月25日(木)、旋回性能や減速性能などの輻輳海域を高速航行する船舶の性能及び運航に関する技術要件を明らかにするため、外部から水先人等を被験者として招き、高速船用シミュレータを用いて輻輳海域高速航行を模擬した実験を行う(詳細は別紙)。

2. 背景

海上技術安全研究所では、国土交通省海事局造船課から「海上ハイウェイネットワークの構築」の一環として「ファーストトラック・シーレーン(湾内高速航行)に関する技術要件の調査研究」(平成14年~15年度)を受託し調査研究を実施しており、本年5月にファーストトラック・シーレーン(湾内高速航行)検討会を設置したところである。

なお、今回の実験は8月に続き2回目である。

3. 今後の予定

今回の実験結果を、ファーストトラック・シーレーン(湾内高速航行)検討会で検討し、輻輳海域を高速航行する船舶に要求される性能要件を設定する。

4. その他(現地取材)

現地(三鷹)での取材については原則として以下の時間内とする。

9月25日(木): 10:00~16:30

現地(三鷹)での取材希望の方は、9月24日(水)までに下記まで連絡をお願いします。なお、取材は実験の邪魔にならないようにお願いします。

本件に関するお問い合わせ先

独立行政法人 海上技術安全研究所

総合安全評価研究グループ長 沼野 正義

(直通)0422-41-3129

平成15年9月19日
海上技術安全研究所

「ファーストトラック・シーレーン（湾内高速航行）に関する技術要件の調査研究」に関する第2回シミュレータ実験（案）

被験者：小関 隆夫氏（横須賀水先区水先人会）
小林 武人氏（東京水先区水先人会）
澤山 恵一氏（日本船長協会）

1. 実施項目

（1）9月24日（水）

・新たな操縦性能を設定したので、その評価とシミュレータ実験条件の確認。

- ◇ 10:00～10:30 実験内容・シミュレータの現状説明
- ◇ 10:30～12:00 慣熟操船（操縦性能 c,d、昼夜、緊急停止、緊急旋回）

（必要に応じて、パラメータチューニング、インタフェース等手直し）

- ◇ 12:00～13:00 昼食

・初期船速39ノット、必要に応じて減速可、航過距離に留意した操船をお願いする。障害物を発生させた緊急回避実験を適宜挿入する。なお、澤山氏、小関氏、小林氏に適宜、交替で被験者になっていただく。

- ◇ 13:00～13:20 状態A（南航、昼、操縦性能c）
- ◇ 13:20～13:40 状態A（南航、昼、操縦性能d）

13:40～14:10 早送り再生により、操船状況の確認、被験者による主観的評価等、討論を行う。

- ◇ 14:10～14:30 状態A（南航、夜、操縦性能c）
- ◇ 14:30～14:50 状態A（南航、夜、操縦性能d）

14:50～15:20 早送り再生により、操船状況の確認、被験者による主観的評価等、討論を行う。

- ◇ 15:20～15:40 状態B（北航、昼、操縦性能c）
- ◇ 15:40～16:00 状態B（北航、昼、操縦性能d）

16:00～16:30 実験後に早送り再生により、操船状況の確認、被験者による主観的評価等、討論を行う。

（2）9月25日（木）

10:00～10:30 前日の実験結果を基にして、実験パラメータ等を見直す。（例、初期船速を30ノットとする等。）

◇ 10:30 ~ 10:50 状態 A (南航、昼、操縦性能?)

◇ 10:50 ~ 11:10 状態 A (南航、夜、操縦性能?)

11:10 ~ 11:40 早送り再生により、操船状況の確認、被験者による主観的評価等、討論を行う。

◇ 11:40 ~ 12:00 状態 B (北航、夜、操縦性能 c)

◇ 12:00 ~ 12:20 状態 B (北航、夜、操縦性能 d)

12:20 ~ 12:50 早送り再生により、操船状況の確認、被験者による主観的評価等、討論を行う。

◇ 12:50 ~ 13:50 昼食

◇ 13:50 ~ 14:10 状態 C (北航、昼、操縦性能 c)

◇ 14:10 ~ 14:30 状態 C (北航、昼、操縦性能 d)

14:30 ~ 15:00 早送り再生により、操船状況の確認、被験者による主観的評価等、討論を行う。風の影響等、適宜、パラメータを設定して実験を行う。

◇ 15:00 ~ 15:20 状態 C (北航、昼、操縦性能 a、西風 15m/s)

◇ 15:20 ~ 15:40 状態 B (北航、夜、操縦性能 b、西風 15m/s)

15:40 ~ 16:30 早送り再生により、操船状況の確認、被験者による主観的評価等、討論を行う。全体を通した総合討論を行う。

2. 討論参加者 (予定)

(1) 9月24日

・東京商船大学 今津教授

・テクノ・シーウェイズ 山内氏、山賀氏

(2) 9月25日

・三井造船昭島研究所 高品氏

・三井造船 山下氏

3. 討論のまとめ項目

(1) 操縦性能について

(2) 運航体制について

(3) 支援装置について

(4) 高速航行全般について